

生物資源学科

教職コースの受講許可を受けた学生はp.68～70の「履修案内」を見ること

カリキュラムの特徴

1 生物資源学科科目群には、必修科目、選択科目があります

必修科目（講義・実験・実習・演習・研究）

生物資源学科で学ぶうえで最も基本となる科目。必ずすべて修得すること。

選択科目

各自の必要に応じて履修する科目

（生物環境システム学科科目群・生命化学科科目群・教職関連科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる）

2 領域配属（教職コースを除く）

生物資源学科には、「植物機能開発科学領域」「動物・昆虫機能開発科学領域」「遺伝子・細胞工学領域」の3領域があります。第4セメスター終了時の進度チェックを充足すると、第5セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

- (1) 第4セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。
- (2) 領域配属は定員制とします。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数は改めて連絡します。
- (3) 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第4セメスターに領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細は改めて連絡します。

卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み8単位以上を修得していること
- ② ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上、言語表現科目群から6単位以上を含み、合計20単位以上を修得していること
- ③ 生物資源学科科目群の必修講義科目38単位を修得していること
- ④ 生物資源学科科目群の必修科目の実験・実習・演習・研究科目（「卒業研究」を除く）14単位を修得していること
- ⑤ 農学部で開講されている選択科目12単位以上を修得していること
- ⑥ 「卒業研究」6単位を修得していること
- ⑦ 卒業時における累積GPAが2.00以上であること
- ⑧ 上記要件をすべて満たし、合計124単位以上を修得していること

卒業までの単位配分

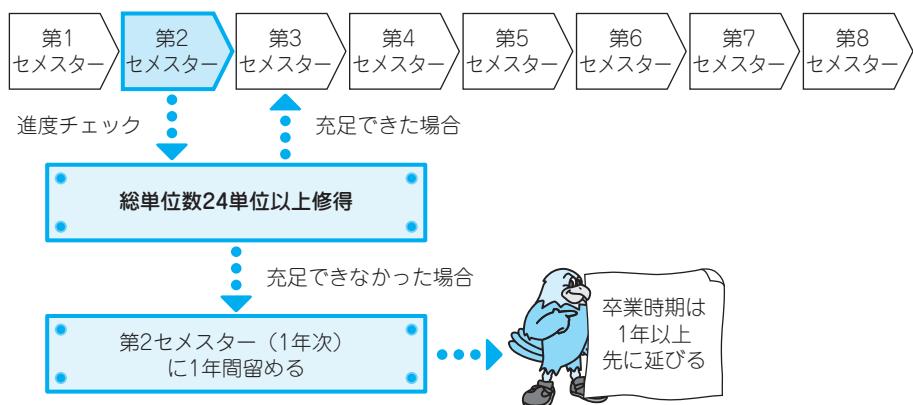
卒業に必要な最少単位数は、第1セメスターから第8セメスターまで、合計124単位で、生物資源学科の場合その内訳は次のとおりです。

ユニバーシティ・スタンダード科目	
玉川教育・FYE科目群	8単位
人文科学科目群	4単位以上
社会科学科目群	4単位以上
自然科学科目群	4単位以上
学際科目群	2単位以上
言語表現科目群	6単位以上
生物資源学科必修科目	58単位
必修講義科目	38単位
必修実験・実習・演習・研究科目	20単位（卒業研究を含む）
選択科目	12単位以上
生物資源学科選択科目	
他学科開講選択科目	
その他選択科目	任 意
他学部開講科目	
教職関連科目	
ユニバーシティ・スタンダード科目	
他大学との単位互換科目	
計	124単位以上

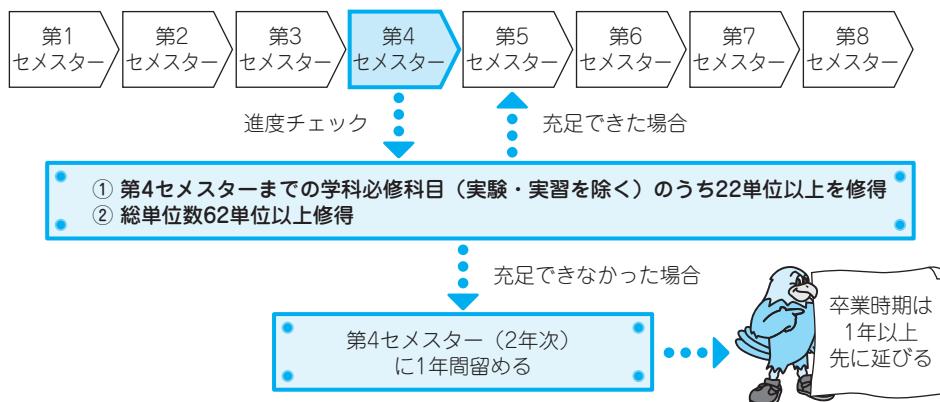
進度チェック

第2セメスター、第4セメスターおよび第6セメスター終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、確認時のセメスターに1年間留まります。

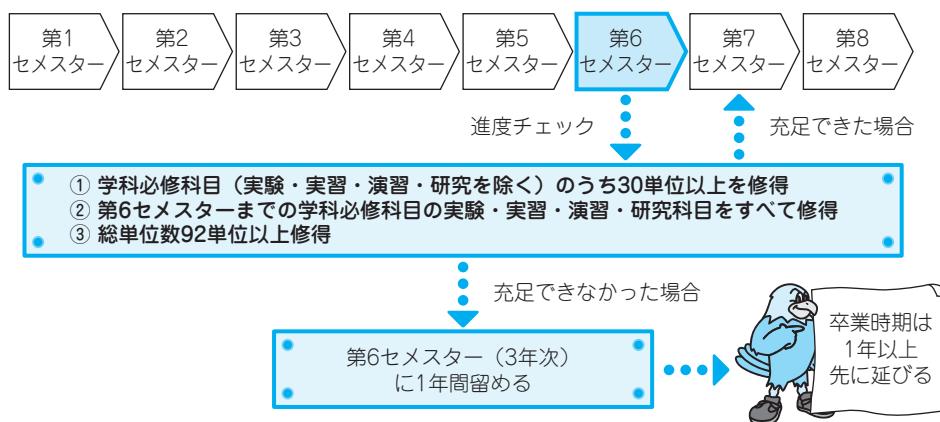
1 第2セメスター（1年次）終了時における進度チェック



2 第4セメスター（2年次）終了時における進度チェック



3 第6セメスター（3年次）終了時における進度チェック



履修上の留意事項

- (1) ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、農学部生が履修してはいけない科目は次の2科目です。
「生物学入門」「化学入門」
- (2) C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.33を参考し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたうえで、適切に手続きを行ってください。
- ただし、農学部各学科が開講する実験・実習・研究科目（演習科目を除く）、インターンシップ科目は、再履修制度の対象に含みません。
- (3) 「卒業研究」は、第7セメスター・第8セメスターともに必ず履修登録してください。
- (4) 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合もありますので、掲示を十分確認してください。
- (5) 教職関連科目群の科目は、農学部教職コースの受講許可を受けた学生だけが履修することができます。

農学部教職コース履修案内
p. 68 ~ 70